

4-3 坂のまち今熊野の 各町の地域特性

(災害による、潜在的な危険の想定)												
※花折断層地震												
(町番号)	町名	192組	1,731世帯	震度想定	地域特性 (まちの構造からみた特性)			[土砂災害警戒区域]	特に対策が必要な災害			
第1ブロック	1	宝蔵町西部	11	90	7	一部密集				▶	地震・火災	
	2	宝蔵町東部	8	68	7	密集				▶	地震・火災	
	3	宝蔵町中部	15	117	7	密集			警戒区域 (一部) 特別警戒区域あり	▶	地震・火災	
	4	権現町	4	52	6強	一部密集				▶	地震・火災	
	5	東瓦町	8	82	7		標準的		警戒区域 (一部) 特別警戒区域あり	▶	地震・火災	
第2ブロック	6	宝蔵町南部	9	79	7	密集				▶	地震・火災	
	7	宝蔵町東南部	7	50	7	密集				▶	地震・火災	
	8	榊ノ森町	8	85	7	密集				▶	地震・火災	
	9	北剣ノ宮町	12	118	6強	一部密集	山裾箇所	警戒区域 (一部) 特別警戒区域あり	▶	地震・火災	土砂災害	
	10	南剣ノ宮町	3	36	6強	密集箇所	一部山	特別警戒区域	▶	地震・火災	土砂災害	
	11	山内町	5	29	7	密集	山	警戒区域 (一部) 特別警戒区域あり	▶	地震・火災	土砂災害	
第3ブロック	12	御陵前町	2	28	6強	密集				▶	地震・火災	
	13	南日吉町中	9	58	6強	密集			警戒区域	▶	地震・火災	土砂災害
	14	南日吉町西南部	7	64	6強	一部密集	山裾箇所	警戒区域 (一部) 特別警戒区域あり	▶	地震・火災	土砂災害	
	15	南日吉町西部	7	81	6強	一部密集	山裾箇所	警戒区域 (一部) 特別警戒区域あり	▶	地震・火災	土砂災害	
	16	三幸町	5	46	6強		標準的		警戒区域 (一部)	▶		
	17	東三幸町	6	83	6強		標準的		警戒区域 (一部)	▶		
第4ブロック	18	日吉町西部	5	82	6強	一部密集	山裾箇所	警戒区域 (一部) 特別警戒区域あり	▶	地震・火災	土砂災害	
	19	日吉町東部	15	121	6強	密集箇所	標準的		特別警戒区域	▶	地震・火災	土砂災害
	20	日吉町北部	4	29	6強		標準的			▶		
	21	新住宅町	3	20	6強		標準的	山裾箇所	警戒区域 (一部) 特別警戒区域あり	▶		土砂災害
	22	曼陀羅園町	3	19	6強	一部密集				▶	地震・火災	
第5ブロック	23	万松園町	8	92	6強		標準的			▶		
	24	本万松園町	6	56	6強		標準的	山裾箇所	警戒区域 (一部) 特別警戒区域あり	▶		土砂災害
	25	万松町	6	27	6弱	密集箇所		山	特別警戒区域	▶	地震・火災	土砂災害
	26	月輪町西部	5	34	6強			山	特別警戒区域	▶		土砂災害
	27	月輪町中部	7	43	6強	密集箇所		山	特別警戒区域	▶	地震・火災	土砂災害
	28	月輪町東部	4	42	6強	密集箇所		山	特別警戒区域	▶	地震・火災	土砂災害

※山裾箇所＝警戒区域箇所
ではありません。

※空欄＝対策不要では
ありません。

お住まいの町の区画や構造、家や道の密集具合、山との近接具合などを基に、地域特性を分類しています。また、ハザードマップ等を基に示した、想定される災害の影響も併記しています。お住まいの町の状況を把握し、今からできる対策を進めていきましょう。

地域特性からみた、被害を少なくする対策の方向性

1	宝蔵町西部	町が南北で二分され町内で地域特性が異なります。災害時の避難体制を整え、情報伝達体制も強化しましょう。また、路地の管理を行うとともに、避難できる路地の整備（二方向避難経路の確保など）等を進めましょう。
2	宝蔵町東部	U字型の路地が多く住宅も密集しています。災害時の避難体制を強化し、路地の管理を徹底しましょう。また、避難できる路地の整備（二方向避難経路の確保など）や、一時待避できるまちの整備（防災ひろばの整備など）等を進めましょう。
3	宝蔵町中部	学区内で最狭の路地もある一番の密集地域です。災害時の避難体制を強化し、路地の管理を徹底しましょう。また、避難できる路地の整備（二方向避難経路の確保など）や、一時待避できるまちの整備（防災ひろばの整備など）等を進めましょう。
4	権現町	東大路通で二分され町内で特性が異なります。災害時の避難体制を整え、情報伝達体制も強化しましょう。また、道の管理を心掛けるとともに、避難できる道の整備（沿道建物の耐震化・防火対策など）等を進めましょう。
5	東瓦町	地形、都市構造上の環境は良好です。良好な住環境を維持し、地震・火災に備えるとともに、災害時の避難体制を整えましょう。また近隣の宝蔵町西部を災害時に支える仕組みも考えてみましょう。
6	宝蔵町南部	枝分かれした深い袋路が複数ある、複雑な密集地域です。災害時の避難体制を強化し、路地の管理を徹底しましょう。また、避難できる路地の整備（二方向避難経路の確保など）や、一時待避できるまちの整備（防災ひろばの整備など）等を進めましょう。
7	宝蔵町東南部	空地もありますが、基本的に道幅が狭く延長の長い道に沿って建物が立ち並ぶ地域です。災害時の避難体制を整えるとともに、一時待避できるまちの整備（町内にある空地を活用した防災ひろばの整備など）等を進めましょう。
8	柳ノ森町	剣道から南北に細街路が複数延びる密集地域です。宝蔵町東南部との間に高低差もあるため、町単位での申し送りも含め災害時の避難体制を整えるとともに、路地の管理の徹底、避難できる路地の整備（二方向避難経路の確保など）等を進めましょう。
9	北剣ノ宮町	剣神社周辺を境に特性が二分され、高低差もある面積の大きい町です。密集エリアは路地の管理や避難できる路地の整備（二方向避難経路の確保など）を進めるとともに、災害の種類に応じて影響があるエリアを地域で助け合う仕組みを整えましょう。
10	南剣ノ宮町	細長い町内で、東西に地域特性が二分されています。災害の種類に応じて影響があるエリアを地域で助け合う仕組みを整えましょう。また、近隣の山内町を災害時に支える仕組みも考えてみましょう。
11	山内町	斜面地かつ密集地域です。災害によっては町内に留まる避難の可能性もあるため、災害の種類に応じた避難体制を整えるとともに、路地の管理を徹底し、一時待避できるまちの整備（防災ひろばの整備など）を進めましょう。
12	御陵前町	避難経路に最も使われる滑石街道を挟んで住宅が立ち並ぶ両側町です。災害時の避難体制を整えるとともに、学区住民の避難経路を安全に確保できるよう、道の管理を徹底し、避難できる道の整備（沿道建物の耐震化・防火対策など）等を進めましょう。
13	南日吉町中	長い路地が複数延びる木造密集度の高い町です。路地の管理を徹底し、避難できる路地の整備（二方向避難経路の確保など）等を進めましょう。また大部分が土砂災害警戒区域に入るので、災害の種類に応じた避難体制を整えることも必要です。
14	南日吉町西南部	剣道を境に南北で地域特性が二分されています。道の管理や、避難できる路地の整備（ブロック塀の改善、二方向避難経路の確保など）を進めるとともに、災害の種類に応じて影響があるエリアを地域で助け合う仕組みを整えましょう。
15	南日吉町西部	建物更新も進み建物区画が大きいエリアもありますが、全体的に延長の長い道が入り組んでいます。道の管理や、避難できる路地の整備（二方向避難経路の確保（高低差がある場所のはしごの設置も含む））等を進めましょう。
16	三幸町	地形、都市構造上の環境は良好です。災害時の避難体制をはじめ地震・火災に備えるとともに、近隣の町（月輪町西部、日吉町東部など）を災害時に支える仕組みも考えてみましょう。
17	東三幸町	地形、都市構造上の環境は良好です。災害時の避難体制をはじめ地震・火災に備えるとともに、近隣の町（南日吉町中、日吉町東部など）を災害時に支える仕組みも考えてみましょう。
18	日吉町西部	町内に空地はあるものの、局所的に密集エリアが分散しています。路地の管理を進めるとともに、町の中央が土砂災害により分断された際に地域で助け合う仕組みを整えましょう。
19	日吉町東部	地域特性が三分されるほど広く世帯数も多い町です。密集エリアは路地の管理を徹底し、避難できる路地の整備（二方向避難経路の確保など）等を進めましょう。また、災害の種類に応じて影響があるエリアを地域で助け合う仕組みを整えましょう。
20	日吉町北部	区画整理により環境が良好です。災害時の避難体制を整えるとともに、近隣の曼陀羅園町を災害時に支える仕組みも考えてみましょう。
21	新住宅町	地形、都市構造上の環境は良好ですが、一部土砂災害などの懸念があります。災害時の避難体制を整えるとともに、情報伝達体制、災害の影響があるエリアを地域で助け合う仕組みも強化しましょう。
22	曼陀羅園町	良好に管理された道幅の狭い袋路に住宅が立ち並んでいます。地震・火災に備え、災害時の避難体制を整えるとともに、初期消火の備え等を行いましょう。
23	万松園町	周辺に比べ、地形、都市構造上の環境は良好です。土砂災害に備えるとともに、近隣の町（万松町、月輪町中部など）を災害時に支える仕組みも考えてみましょう。
24	本万松園町	都市構造上の環境は良好ですが、空き家の老朽化や土砂災害などの懸念があります。空き家の管理や、一時待避できるまちの整備（防災ひろばの整備など）等を進めつつ、近隣の町（月輪町中部など）を災害時に支える仕組みも考えてみましょう。
25	万松町	延長の短い袋路が複数並行しています。災害の種類に応じた避難体制を整えるとともに、路地の管理や避難できるまちの整備（路地始端部（入口部分）の耐震化・防火対策など）等を進めましょう。
26	月輪町西部	建物区画が大きく戸間隔もあるため、建物の倒壊などによる近隣への影響が出る可能性は低いです。互いに距離がある分、災害時に町内でまとまった対策や行動がとれるよう、災害時の避難体制を整えるとともに、情報伝達体制も強化しましょう。
27	月輪町中部	高低差のある中密集するエリアが分散しています。災害時の避難体制を整えるとともに、路地の管理を行いましょう。また、町の中央が土砂災害により分断された際に地域で助け合う仕組みを整えましょう。
28	月輪町東部	建物区画が大きく戸間隔もある一方で、一部路地があるエリアがあります。路地の管理を行うとともに、災害時に町内でまとまった対策や行動がとれるよう、災害時の避難体制を整えるとともに、情報伝達体制も強化しましょう。